

おいしいものには、おいしいなりの理由がある。その理由を前回に引き続き紐解いてみました。



おいしいお米が育つには それを決める五大要素

1 日当たり



収穫量を左右することで知られる日照量は、味にも大きな影響を与えます。

東向きや南向きの田は稲にとっても快適な場所であり、おいしいお米が多く育つ傾向があるようです。

2 気 候

山間地の米がおいしいことはよく知られていますが、この理由は昼夜の寒暖差にあると言われていいます。特に、稲が実をつけて太らせる秋の気温の影響が大きいのです。

3 土 壌

保水力の強い粘土質の田んぼは、昔から「良い田んぼ」として大切にされてきました。粘土質の田で育つ米は砂地の米よりおいしいと言われていいます。また、土中のミネラル分が多い地域の米も、おいしい米と言われることが多いようです。

4 水

陸稲とは違う「水稻」だから水を与える影響は大きい。一般的には、いわゆる「軟水」のほうが、「硬水」より良いとされ、

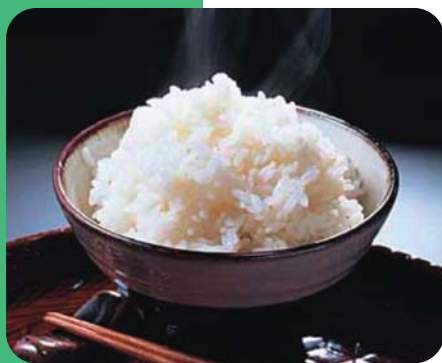


甘さを感じるほどの軟水を引いた田では、甘みのある良質米が育つと言われていいます。

5 栽培方法

肥料の時期や量、水の管理、田植え時期などその年の気候に合わせた栽培、また、稲の間を広くすることで風通しを良くし、丈夫に育つようにするなど、工夫をこらした作付けで稲の育ちは大きく変わってきます。

おいしいものは、なぜおいしい？
お米のおいしさ(その2)



▶上手に作って、おいしいお米を。

問い合わせ先 藤原庁舎 農林商工課 ☎46-6306 FAX46-6319

いなべいきいきマイタウン

▶守り続けたい貴重種「寒桃」

北勢町新町の奥に「寒桃(カンモモ)」というモモの木があります。この寒桃は、春には他のモモと同じように花が咲きますが、晩秋になってやっと実が熟するという変り種です。江戸時



代末期、皇女和宮様降嫁の折に献上された記録も残っています。

以前は簡単に実を収穫することができましたが、今ではサルに食べられてしまうため守り続けるのに大変苦労しています。

提供者 北勢町新町 辻 郷男さんから



※みなさんからの身近なできごとをお知らせください※

読者のみなさんから投稿をお待ちしています。また、いなべ市内で撮影された写真についても併せて募集していますので、どんどんお寄せください。



いなべ市情報誌「Link」

発行と編集

Vol.31

平成18年6月1日発行

いなべ市役所 企画部 広報情報課

〒511-0293

三重県いなべ市員弁町笠田新田111番地

☎0594-74-5819 FAX0594-74-5822

http://www.city.inabe.mie.jp

生活情報「まいめる」
QRコード



モバイルサイト
QRコード▶

